

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立一条中学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や生徒の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって生徒を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成29年度「全国学力・学習状況調査」における本校生徒の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成29年4月18日(火)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語A・B, 算数A・B, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語A・B, 数学A・B, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語A 139人 国語B 139人

② 数学A 139人 数学B 139人

5 留意事項

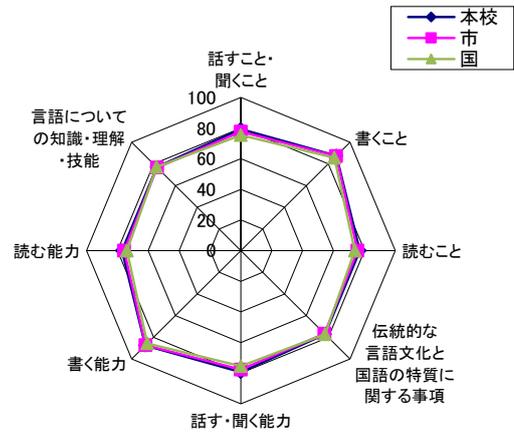
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、数学の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、
「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立一条中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

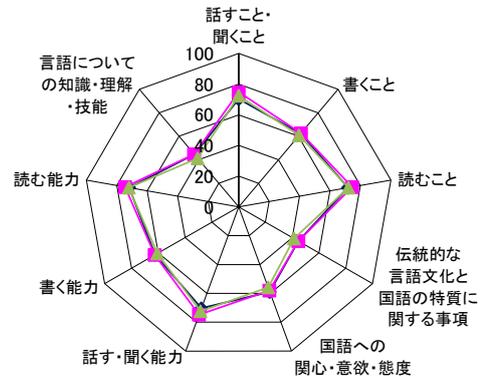
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	79.3	77.6	75.4
	書くこと	87.6	87.3	85.7
	読むこと	77.0	75.6	73.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.1	76.6	77.2
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	79.3	77.6	75.4
	書く能力	87.6	87.3	85.7
	読む能力	77.0	75.6	73.8
	言語についての知識・理解・技能	77.1	76.6	77.2



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	70.3	74.8	72.4
	書くこと	62.4	62.6	60.8
	読むこと	71.9	74.6	72.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	44.6	44.7	41.4
観点	国語への関心・意欲・態度	59.0	58.0	55.9
	話す・聞く能力	70.3	74.8	72.4
	書く能力	62.4	62.6	60.8
	読む能力	71.9	74.6	72.1
	言語についての知識・理解・技能	44.6	44.7	41.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

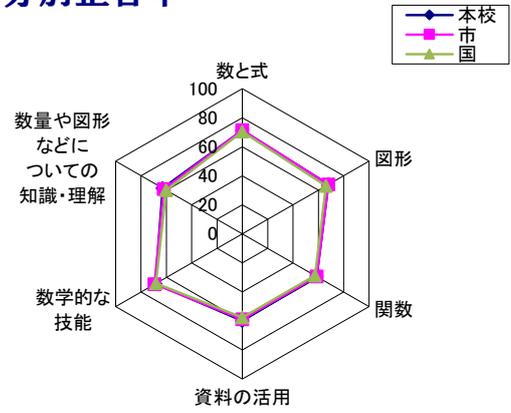
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○[国語A]市の平均正答率を2ポイント程度上回っている。特に「目的に応じて資料を活用して話す」項目で正答率9割を超えている。 ●[国語B]市の平均正答率を4ポイント程度下回った。特に「論理的な構成や展開などに注意して聞く」項目で課題が見られる。	話し合いの中で自分の考えを表現に反映させるような学習に取り組み、相手の発言の意図を正しく聞き取る尋ね方や、相手に分かりやすく話す話し方も活動を通して指導していく。
書くこと	○[国語A]市の平均正答率と同程度の結果であった。特に「目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる」項目で正答率96%であった。 ●[国語B]市の平均正答率と同程度の結果であった。「必要な情報を集めるための見通しを持つ」項目は良好な結果であったが、「集めた材料を整理して文章を構成する」項目で課題が見られる。	文章を書く学習活動に、文相互の関わりを捉えたり、内容を考えて段落分けをする活動を取り入れる。また、接続語や語をつなぐ言葉を効果的に用いて文章を書くことができるよう指導していく。また、説明的文章の「読む」単元においても、前記の内容を意識しながら指導していく。
読むこと	○[国語A]市の平均正答率を1.4ポイント上回った。「文章の要旨を捉える」「文章の構成や展開、表現の特徴について」の項目では良好であるが、「文章の表現の仕方について自分の考えを持つ」項目で課題が見られる。 ●[国語B]市の平均正答率を3ポイント程度下回る。「目的に応じて必要な情報を読み取る」項目で課題が見られる。	「読む」単元において、「比べ読み」の授業を取り入れたり、文章を読むにあたり、何を読み取るのかの目的意識をもてるよう授業展開に工夫をする。また、「読むこと」の学習を「書くこと」の学習に活かせるよう配慮する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○[国語A]市との平均正答率と同程度である。「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」「助詞の働きについて理解する」項目では良好であるが、「楷書と行書との違いを理解する」項目で課題が見られる。 ●[国語B]市の平均正答率と同程度である。「比喩表現を見つけ出し、その効果を問う問題」において課題が見られる。	漢字の読み書きについて、特に書きの方に苦手意識があるため、効果的な学習で定着を図りたい。文を作りながら漢字を活用する指導も行う。また、文章の表現技法の確認と、それらが日本語の中でどんな役割や効果を発しているかについても授業で扱う。

宇都宮市立一条中学校第3学年【数学】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

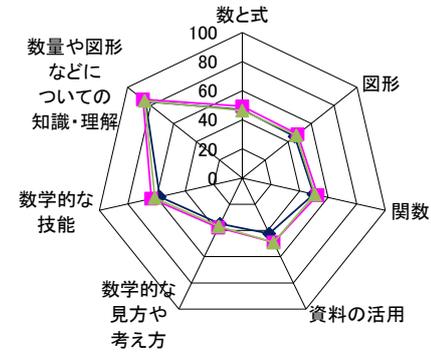
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	71.3	71.4	70.4
	図形	67.9	67.9	66.0
	関数	58.7	58.6	57.4
	資料の活用	59.9	58.9	57.6
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	68.7	69.3	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	62.8	61.9	60.2



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	47.0	49.4	46.3
	図形	45.8	48.3	47.1
	関数	49.9	52.7	50.8
	資料の活用	42.4	49.0	49.1
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	35.0	37.8	36.8
	数学的な技能	57.8	63.7	61.2
	数量や図形などについての知識・理解	84.5	86.7	85.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○【数学A】平均正答率は市の平均と同程度であり、おおむね良好である。特に、等式の変形、1元1次方程式の解法、2元1次方程式の解の意味に関する設問では、市の平均正答率をそれぞれ2～4.5ポイントほど上回っている。 ●【数学B】平均正答率が市の平均を2.4ポイント下回っている。特に、事象を数学的に表現する問題では、市の平均を5.8ポイント下回っている。	・説明する場面において、数学的な表現を適切に用いる必要性について考えさせたい。知識や技能を身につける過程で、日常的な表現を用いて理解しやすくすることが、数学的な表現を適切に用いることに対する弊害にもなりうる。日常的な表現は補助的な役割にとどめ、数学的な表現の重要性を理解させたい。
図形	○【数学A】平均正答率は市の平均と同程度であり、おおむね良好である。特に、円柱の体積を求める問題では、市の平均正答率を7.6ポイント上回っている。 ●【数学B】平均正答率が市の平均を2.5ポイント下回っている。設問別では、6問中5問において市の平均正答率を下回っている。	・図形に関する基本的な知識や技能は身につけているので、身近にある具体的な事象等に数学を発見する体験を授業に多く取り入れる必要がある。具体物を模式化して理解する力を身につけさせたい。
関数	○【数学A】平均正答率は市の平均を0.1ポイント上回っており、おおむね良好である。特に、表から比例定数や変化の割合をよみとらせる問題では、市の平均正答率をそれぞれ4～5ポイント上回っている。 ●【数学B】平均正答率が市の平均を2.8ポイント下回っている。特に、数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理する問題では、-7.1ポイントと大きく下回った。	・表、グラフ、式を用いて関数関係を表現する中で、表については十分な知識と活用の技能が身につけている。具体的な数値のみを扱う表に対し、一般性を求める式については理解が不十分である。表、グラフ、式それぞれのよさを実感できる授業を実践し、グラフの活用を幅を広げたり、式の有用性を考えさせたりしたい。
資料の活用	○【数学A】平均正答率は市の平均を1.0ポイント上回っており、おおむね良好である。特に、確率に関する設問では、市の平均正答率を大きく上回っている。 ●【数学B】平均正答率が市の平均を6.6ポイント下回っている。特に、必要な情報を選択し、事象に即して解釈する問題では、-10.7ポイントと大きく下回った。	・平均値、中央値、最頻値などの代表値について、意味を理解したり、値を求めたりすることに加え、それぞれの代表値を具体的な場面でのどのように活用するかを考えさせる授業を行いたい。

宇都宮市立一条中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

〈学校や家庭での学習について〉

○「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という問いに対して本校の肯定割合は、62.1%で全国平均を10.6ポイント上回っている。また、「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という問いに対して平日「2時間以上」と答えた割合は、38.6%で休日「2時間以上」と答えた割合は、50.1%で全国平均をそれぞれ平日は3.2ポイント、休日は8.3ポイント上回っている。3年生として自覚を持ち計画的な家庭学習への取り組みが見られている。今後、進路実現に向けてさらに家庭学習の充実を図り、学力向上を目指していきたい。

○「授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか」という問いに対して本校の肯定割合は、83.5%で全国平均を10.0ポイント上回っている。また、「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話しの組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか」という問いに対して本校の肯定割合は、67.9%で全国平均を10.0ポイント上回っている。各教科の授業における言語活動の充実を図った成果が見られてきた。今後も生徒自らが考えをまとめ、発表する場を多く設けていきたい。

●「学校の授業時間以外に、平日1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」という問いに対して「30分以上」と答えた割合は、20.7%で全国平均を8.5ポイント下回っている。毎朝の読書の時間以外に、昼休み時間を有効活用するうえ生徒の読書時間を確保していきたい。

〈毎日の生活について〉

○「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という問いに対して本校の肯定割合は、56.5%で全国平均を5.9ポイント上回っている。また、「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていきますか」という問いに対して本校の肯定割合は、45.0%で全国平均を11.0ポイント上回っている。各家庭において、親子での約束やルールについて話し合いがなされ、余暇時間を過ごしていることがわかる。

○「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という問いに対して本校の肯定割合は、70.0%で全国平均を10.8ポイント上回っている。また、「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」という問いに対して本校の肯定割合は、89.3%で全国平均を2.6ポイント上回っている。生徒たちは地域における各種ボランティア活動への参加意欲が高く、マスメディアを通して時事問題等に興味・関心が高いことがわかる。今後、各教科授業を通して身近な教材としてのニュース番組を家庭で視聴する機会を増やしたい。

●「自分には、よいところがあると思いますか」という問いに対して本校の肯定割合は、70.0%で全国平均を0.7ポイント、県平均を4.7ポイント下回っている。今後、学校行事、生徒会活動、学級活動等を通して学年、学級、生徒間の所属意識及び連帯意識を高め、充実した学校生活を送れるようにしたい。

宇都宮市立一条中学校（第3学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
○授業の目標(めあて、ねらい)を明確に示す。	○課題を明確に示して生徒全員に学習の見通しを立てさせるとともに、授業の目標を板書しノートに記入させる。	○「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いている」に対する肯定割合は79.3%で、県平均86.3%を大きく下回っている。今後、取り組みを強化していく必要がある。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
○「授業の最後に、学習したことをふり返る活動をよく行っている」という質問に対する肯定割合は72.2%で、県平均を2.1ポイント上回ってはいるものの十分とはいえない。	○効果的な授業の振り返りを行い、家庭学習への意欲を高めさせる。	○一条地域学校園で連携し、「効果的な振り返り」について研究を進める。 ○「まとめ・振り返り」を意識した授業づくりを行う。